

048-28381

残留塩素測定用 DPD Tablet

〔はじめに〕

飲料水、プール水には殺菌、消毒の目的で塩素剤が使用されています。塩素剤は水中で次亜塩素酸として消毒作用を発揮しますが、水中の懸濁物、有機物、金属塩と反応したり、大気中に逸散するなどしてその濃度が減少し作用能力が次第に低下してきます。したがって、衛生管理面から水中残留塩素を測定することは必須作業です。

本品は、上水試験方法に記載されている DPD 法を原理とした残留塩素の簡易測定用錠剤です。

〔1錠当りの組成〕	<i>N,N</i> -ジエチル- <i>p</i> -フェニレンジアミン	
	硫酸塩 (DPD)	2 mg
	無水硫酸ナトリウム	48 mg

〔測定法〕

- (1) 残留塩素測定用試験管 (別売：商品コード 294-34151) に検水 5 mL を採り、りん酸緩衝液、pH 6.5 (別売：商品コード 161-20185) を 0.25 mL 加えます。
 - (2) (1) の試料に本品を 1 錠加え、約 5 秒間激しく混和した後、呈色を残留塩素標準比色列^{参考文献 2)}と側面から比色して遊離残留塩素 (mg/L) を求めます (比色法)。分光光度計を用いる場合は、波長 555 nm 付近の吸光度を測定し、検量線^{参考文献 2)}により遊離残留塩素を求めます (吸光度法)。また、活性塩素 DPD テストワコー (商品コード 297-56501) 付属残留塩素測定用色調表を使用しますと簡便に測定ができます。
 - (3) 総残留塩素 (mg/L) を求めるには、(2) の試料によう化カリウム (別売：商品コード 164-03972) 約 0.05 g を加えて溶解し、比色法、吸光光度法または残留塩素測定用色調表により測定します。
 - (4) 結合残留塩素 (mg/L) は、総残留塩素から遊離残留塩素を引いて求めます。
- 注) 本品は錠剤ですのですぐには完溶しませんが、添加後激しく混和すると約 5 秒で残留塩素の測定に必要な発色を呈します。溶け残りは無水硫酸ナトリウムであり測定に影響はありません。

〔貯 法〕 遮光保存

〔包 装〕 100 錠

- 〔参考文献〕
- 1) 日本薬学会編：「衛生試験法・注解 2000」p946 (2000)
 - 2) 厚生省生活衛生局 水道環境部 監修：「上水試験方法」p210 (日本水道協会) (1993)

〔別売商品〕

161-20185	りん酸緩衝液、pH 6.5	500 mL
164-03972	よう化カリウム	25 g
294-34151	活性塩素 DPD テスト試験管	5 本 (栓付)

〔関連商品〕

297-56501	活性塩素 DPD テストワコー	100 回用
042-27642	<i>N,N</i> -ジエチル- <i>p</i> -フェニレンジアミン硫酸塩 (DPD 硫酸塩)	25 g
042-28002	DPD 試薬	25 g
044-28001	DPD 試薬	100 g

製造発売元

富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目 1 番 2 号
Tel : 06-6203-3741

1805KA1